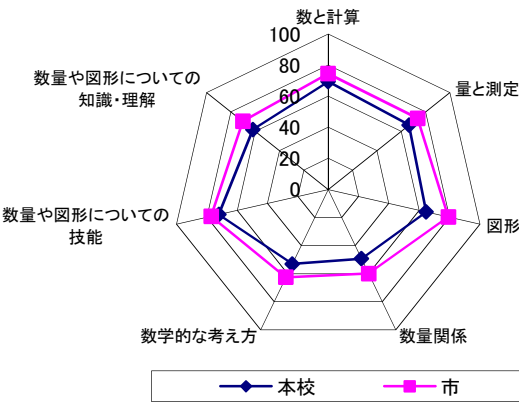


宇都宮市立新田小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	69.3	74.5
	量と測定	66.5	73.5
	図形	64.5	79.2
	数量関係	49.4	59.9
観点別	数学的な考え方	53.1	62.5
	数量や図形についての技能	72.0	77.1
	数量や図形についての知識・理解	61.9	70.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・宇都宮市の正答率と比べると5. 2%下回った。特に、小数の大きさや小数のしくみ、がい数の範囲についての理解が低い。また、倍とわり算の文章問題を表した図を理解する問題の正答率も低い。	・数直線や図などを使って小数についての理解を深められるような指導を展開し、定着が図れるように繰り返し指導する。
量と測定	・宇都宮市の平均正答率と比べると、「複合図形で、面積を求める図から式が分かる。」という問題の正答率が14. 6%下回った。また、「角の性質がわかり、2直線が交わってできる角の大きさを計算で求めることができる。」という問題の正答率も12. 7%下回った。	・再度面積の求め方の問題を復習し、角の性質を理解させ、角の大きさを計算で求める問題を、定着が図れるまで繰り返し指導する。
図形	・宇都宮市の平均正答率と比べると、「二等辺三角形を作図することができる。」を求める問題の正答率が24. 2%下回った。また、「球の半径から、球が3つ並んだときの長さを求めることができる。」を求める問題の正答率も12. 7%下回った。	・作図など繰り返し指導し、定着を図る。 ・図の中に長さなどの必要な情報を書き入れることができるように指導する。
数量関係	・宇都宮市の平均正答率と比べると、「分配の法則」の問題では、17. 6%下回っている。また、折れ線グラフの特徴と有用性を示す問題では、16%, 2次元表の読み方を示す問題では、16. 3%下回っている。	・グラフや表から読み取ったことを、文章に表す指導をするとともに、表にまとめて整理することの繰り返し練習し、定着を図る。